東部海岸線からのぞむ西原町

広報にしはら

発行
西原町役場
〒903-01
西原町字嘉手苅112番地
電話（09894）－5－4533
印刷
（協）丸正印刷

町の世帯・人口
（昭和63年11月末現在）

世帯数	7,277世帯
人口	24,643人
男	12,605人
女	12,038人

11月の人口移動

出生	43人	死亡	5人
転入	117人	転出	105人
婚姻	15件	離婚	2件

年頭のあいさつ
基本姿勢を堅持 新たな飛躍発展の年
西原町長　平安恒政

新年あけましておめでとうございます。

輝かしい新春を迎え、町民の皆様には益々ご健勝のことをお慶び申し上げます。

町民の皆様には、平素から町政に対しまして深いご理解とご協力を賜り心から感謝申し上げる次第でございます。

昨年は、私も町民の皆様の絶大なるご支持、ご支援に支えられ、無投票当選の栄を賜り、二期目に向けてスタートすることになりました。ここに改めて深甚なる敬意と感謝を申し上げると共に、これから更に二十一世紀を展望し、平和で明るい、活力に満ちた「文教のまち」づくりに向けて粉骨砕身努力する決意であります。今後とも町民皆様の尚一層のご指導とご鞭韃を賜わりますよう心からお願い申し上げます。

さて、私は町長就任以来、一貫して「反戦平和」、「対話行政」、「町民参加」を基調に、町議会を始め、関係機関、団体並びに町民のご理解とご協力を基に、安全で住みよい都市基盤の整備を始め、農地保全事業を中心とする農業振興、更に教育、福祉、文化、スポーツ全般に亘る諸施策を推進してまいりました。

私は、二期目に向けましても、これまでの基本姿勢を堅持し、西原小学校過密化問題、上原棚原土地区画整理事業、更に西原運動公園や中城湾港南部開発事業（ＭＴＰ）等の推進を重点施策として、より高い都市機能の拡充強化を目ざすと共に、教育、福祉、文化、スポーツなど各分野における、人間尊重の諸施策を推進していく所存でございます。

特に今年は、町政施行一〇周年を迎える記念すべき節目にあたり、次代を担う青少年の人材育成事業を中心に記念事業を推進し、「文教のまち」づくりの新たな飛躍発展の年にしたいと存じます。

自治体を取り巻く社会経済情勢は、円高ドル安、貿易摩擦、農畜産物自由化などに加え、国の行政改革、税政改革による地方財政への影響も一段と厳しいものが予想されますが、町議会を始め、町民一人ひとりの英知と力を結集し係る困難の問題克服に向け、全力を傾注する覚悟でありますので、町民の皆様の一層のご指導とご協力を賜わりますよう宜しくお願い申し上げます。

終りに、町民皆様の限りないご繁栄と益々のご健康、ご多幸を祈念申し上げ、新年のごあいさつと致します。

年頭のあいさつ
町民の付託に応え努力
町議会議長　親泊輝武

明けましてお目出度うございます。

さわやかな新春を迎え、希望に満ちた昭和六四年の年頭にあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

ご承知のように本町は地理的に都市近郊に位置していることから、近年地域開発が盛んになり、それに伴って人口も年々増加し、都市化の傾向を強めつゝあります。

そうした中で町民の期待する住みよい豊かな町づくりに向けて一歩一歩着実に進展しておりますことは、誠に喜びにたえません。これもひとえに町民各位の町政へのご理解・ご協力の賜であり、心から感謝申し上げます。

ところで、これまで本町は町民福祉の向上、町発展の基盤づくりに各種事業を行って参りましたが、とりわけ昨年は、急激な人口増に伴う過密校の解消を図るため、東中学校の新設開校をみましたし、同校並びに坂田小学校の施設整備の一環として水泳プール建設を昨年暮れから着手しております。

又、これまで復帰記念事業として進めて参りました運動公園事業につきましても、陸上競技場の造成工事を昨年暮れから着手しております。

更に現在国県が進めているＭＴＰ構想と連動させて、町独自で海洋空間を利用した埋立による新しい町づくりを現在計画段階でありますが、それらの大型プロジェクトの構想など、活力ある町づくりの推進に取り組んでおります。

これらの諸事業の推進にあたっては、執行機関は勿論でありますが、私ども議会としましても執行機関と相いたづさえて審議機関としての機能を充分に発揮し、町民の付託に応えるよう努力して参りたいと存じます。

どうか、町民各位の一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

希望に満ちた昭和六四年の門出に際し、町民各位のご多幸、ご繁栄を心から祈念申し上げて、年頭のごあいさつといたします。

謹んで新年のお慶びを申し上げます

西原町役場

町長　平安恒政
助役　小川良夫
収入役　翁長正昌
教育長　稲福恭助
総務課長　大城助徳
企画課長　上間明
住民課長　呉屋厚雄
福祉課長　佐久川正信
税務課長　玉那覇三郎
税務課主旨　棚原盛光
保健衛生課長　我謝孟功
国民健康保険課長　比嘉貞宗
産業課長　上地安治
都市計画課長　与儀博彦
土木課長　城間太郎
水道課長　宮平正和
教育課長　翁長正貞
社会教育課長　泉川利夫
農業委員会事務局長　宮平正輝
ほか職員一同

西原町議会

議長　親泊輝武
副議長　城間光雄
議員　翁長正吉
〃　与那城長助
〃　崎原盛善
〃　新川康之
〃　外間惟正
〃　新垣和男
〃　大城盛孝
〃　宮城正吉
〃　稲福勝美
〃　新垣盛光
〃　比嘉昭幸
〃　与那嶺義雄
〃　富春治
〃　座波進
〃　前里光信
〃　屋良朝光
〃　新川喜男
〃　大嶺盛義
〃　新垣常夫
〃　宮平宗輔
議会事務局長　呉屋仁一

21世紀を創造する「人間性豊かな文教のまち西原」

『動く美術館』第２回西原町展
日本洋画壇秀作チャリィティー展：昭和64年１月29日(日)～２月12日(日) 西原町民体育館

西原小学校の分離諸条件について諮問

西原小分離計画策定専門委員会設置

西原小学校分離計画策定専門委員会が設置される＝12月８日、町役場

町（平安恒政町長）では、本町の学校教育諸条件の整備を図るための「西原町学校基本施設等整備計画策定専門委員会設置要綱」に基づき、十二月八日午後二時、町役場二階会議室において、「西原小学校分離計画策定専門委員会」を設置、西原小学校分離に伴う教育施設の整備並びに通園・通学区域の設定について、諮問を行なった。

本町では、地理的諸条件に恵まれ、住宅団地開発、企業の進出、地域開発などが盛んになり、人口も急激に増加の傾向を示している状況で、昭和五十六年には、西原東小学校が西原小学校より分離、小学校の規模適正化が図られたばかりである。

しかし、西原小学校では、現在、二十八学級、児童数が一、〇九五人と大規模化し、又、西原東小学校においても既に教室不足の状況を来たしている状況である。

委員会では、西原小学校の分離に伴う教育施設の整備と通園通学区域の設定について調査、審議することになった。

なお、委員は次の通り。

◎委員長・親泊輝武（町議会議長）、副委員長・与那嶺浩（町教育委員長）、翁長正吉（町議会総務委員長）、屋良朝光（町議会財務厚生委員長）、富春治（町議会建設産業委員長）、城間期一（西原東中学校長）、高良武治（西原小学校長）、新垣善雄（町農業委員会々長）、小川良夫（町助役）、上間明（町企画課長）、上地安治（町産業課長）

＝以上敬称略＝

安全で住み良いまちづくりを宣言

町交通安全推進住民大会

町交通安全推進住民大会のもよう：11月24日、町中央公民館

「交通ルールとマナーを遵守する心を育て、交通安全の輪を広げよう」―と十一月二十四日午後三時より町中央公民館において、『西原町交通安全推進住民大会』が西原町・町交通安全推進協議会（平安恒政会長）主催、浦添警察署、浦添地区交通安全協会後援により開催された。

大会には、町交通安全推進協議会を組織する関係団体及び機関の代表者や町民約三百名が参加、交通安全への関心を深めた。

大会では、主催者代表あいさつ、浦添警察署長や同地区交通安全協会長及び町議会議長などの激励あいさつの後、意見発表として、小・中・高校生代表、老人クラブ代表、PTA代表、事業所代表など交通安全についてのそれぞれの立場での発表が行なわれた。

また、車社会にあって町民一人ひとりが、正しい交通ルールとマナーの遵守を徹底し安全で住みよい「人間性豊かな文教の町・西原」をめざす旨の大会宣言を全会一致で採択し、町中央公民館から西原東小学校までの街頭パレードを行い、町民や運転者への交通安全思想の啓発を行なった。

年始会の御案内

昭和六十四年の輝かしい新春を寿ぎ、町民並びに町内に職場をもつ皆様の親睦・交流を深め、併せて皆様の御多幸と御発展を祈念するため恒例の新春年始会を左記のとおり催します。

時節柄ご多忙のこととは存じますが、多数の方々が御参加下さいますよう御案内申し上げます。

記

日時・昭和64年1月4日(水)　午後4時

場所・西原町中央公民館

会費・一、〇〇〇円

受付・当日、会場でも可能

成人式のお知らせ

本町では、成人を迎えられる皆さんの新しい門出を祝福するため、成人式を次の通り行います。

成人者並びに関係者の皆様はお繰り合せの上、ぜひご出席下さい。

記

日時　昭和六十四年一月十五日午後二時（受付一時半）

場所　西原町中央公民館

対象　昭和四十三年四月二日～四十四年四月一日生れの方。又は町出身で就職、学業等で町外に住んでいる方も参加できます。

お問い合せは町総務課へ（電話五―五〇一一）

障害克服九個のメダル獲得

第24回身障者スポーツ大会

第24回沖縄県身体障害者スポーツ大会（主催・沖縄県・名護市・県身体障害福祉協会）が、十一月二十七日名護市で開催され、本町より九名の選手が南部地区代表として出場、七名で九個のメダルを獲得、関係者より喜ばれている。

障害を克服、メダル獲得を喜ぶ：12月27日

身障者スポーツ大会は、機能の回復と体力の維持増強を図り、希望と勇気をもってたくましく生きる能力を育て、障害者に対する一般社会の認識を深めることを目的として行なわれたもの。

スポーツ大会は、障害区分別に行われ、陸上、卓球、水泳、アーチェリーの各種目で行なわれた。

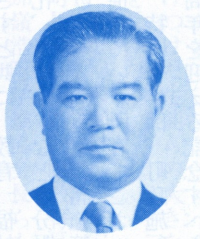
なお、本町の代表選手及び成績は次の通り。

氏名	住所	種目	成績
糸数ノリ子	翁長65	ソフトボール投	金
大城秀光	小橋川96―3	砲丸投	金
崎原盛男	与那城312	一〇〇メートル	銅
〃	〃	ソフトボール投	金
玉城康雄	248―2	卓球	金
玉那覇俊雄	嘉手苅32―7	一〇〇メートル	銀
〃	〃 32―7	立幅跳	銀
玉那覇春子	137―2	ハンドボール投	銀
宮平助徳	我謝164	卓球	銅
喜屋武良春	〃655	立幅跳	
稲福進	翁長157―3	ハンドボール投	

中山・新里両氏表彰される

国民健康保険法施行五十周年記念式典（主催＝沖縄県・沖縄県国保連合会）が昭和六十三年十一月二十二日午後、沖縄ハーバービューホテルで関係者多数が出席して行なわれた。

町国民健康保険運営協議会会長
中山正徳氏


町国民健康保険運営協議会会長
新里吉一氏

本式典において、これまで西原町国民健康保険運営協議会の会長及び委員として活躍された中山正徳氏と新里吉一氏が沖縄県国保連合会々長より表彰されました。

中山氏は町国保運営協議会会長、新里氏は同運営委員として昭和四十九年十一月から現在までの功績が認められての受賞、関係者より喜ばれている。

第94期青年隊員募集

一、趣旨

機械技術者として社会の中堅青年として農業自営や海外へ移住しようとする青年達を集め、「働きながら学ぶ」を基調に、知識と技術を修得させ、社会に役立つ青年を養成する。

二、応募資格

(一)　義務教育修了の満25歳までの独身男子。

(二)　心身健全で共同生活を守りうる者。

三、訓練期間

昭和64年4月4日～昭和64年9月22日まで

四、応募締切

昭和64年2月25日まで

五、申し込み先

㈳沖縄産業開発青年協会

☎(九八)-四三二一一八

西原町役場産業課

☎五―五〇一三

交通事故巡回相談：昭和64年１月25日午前10時～午後３時町役場

酒酔運転、スピード違反、無免許運転の交通三悪を追放しよう。

昭和63年の歩み

★一月
3日　新春凧上げ大会
4日　年始会
6日　東部消防本部消防出初式
10日　町少年剣道なぎなた大会
14日　町民陸上競技場建設検討委員会発足
15日　昭和六十三年成人式
17日　第四回新春トリムマラソン大会
23日　第七回町P連研究大会
28日　昭和六十三年第一回町議会臨時会＝昭和六十三年度町一般会計補正予算など可決

★二月
1日　財務会計システムの電算化
2日　第一回西原町自主財源確保推進大会
7日　「動く美術館」西原町展（19日まで）＝町民体育館
19日　町学推協第三年次実践研究発表会
26日　海邦国体記念植樹祭検討委員会発足
24日　西原中女子バレー第五回県中学校バレーボール選抜優勝大会で初優勝

★三月
2日　町社協発展計画策定
6日　男子西原東クラブ第十回中頭地区小学生バレーさよなら大会で優勝
12日　昭和六十三年第二回町議会定例会（30日まで）
○昭和六十三年度予算案など可決
☆平安町長、昭和六十三年度施政方針、町議会で述べる
13日　昭和63年町職員採用試験
19日　第42回国民体育大会町実行委員会第五回総会
20日　町中央公民館学習発表会
●「昭和六十三年新入学児童激励の集い」（町・町社協・町母子寡婦福祉会共催）
27日　町子連第七回子ども会発表大会（西原東小学体育館）
31日　町公有水面埋立基本計画答申される

★四月
1日　町職員定期人事異動
5日　西原東中学校分離式及び開校式・祝賀会
22日　町健康づくり推進協委員委嘱状交付式（城間期一氏が新会長に就任）
27日　町体育協会昭和63年度定期総会
28日　新旧校長・教頭・退職教員激励会

★五月
11日　町表彰条例に基づく表彰式
呉屋賀真外二十三名を表彰
17日　町学推協昭和六十三年度総会
県指定期間（三年）
18日　春の行政相談所開設
20日　昭和六十三年第三回町議会臨時会（行政報告）
22日　町体協第10回各区対抗OB家庭婦人バレーボール大会
24日　町商工会第13回通常総会
29日　町P連第一回運動会

★六月
1日　町青少協昭和63年度総会
7日　水道施設視察研修会
12日　沖縄県議会議員選挙
16日　昭和六十三年度社会教育関係団体指導者研修会
26日　町体協各区対抗野球大会及び第八回テニス選手権大会
27日　昭和六十三年第四回町議会定例会＝米軍の湖水訓練抗議決議など議決

★七月
2日　沖縄キリスト教短大起工式
3日　嘉手苅公民館落成式
7日　南の叙勲受章祝賀会（呉屋永得・祖堅方政氏激励）
8日　町P連昭和63年度総会
9日　第八回町青少年健全育成町民総決起大会（町青少協）
10日　町体協各区対抗ソフトボール大会
11日　第一回字誌づくり講習会
13日　町墓地地域指定検討委員会発足
21日　一人暮らし老人激励会
24日　町体協各区対抗バスケットボール大会
25日　ロバの音楽座コンサート町公演（町児童館）
31日　町体協各区対抗卓球大会及び各区対抗テニス大会
◎西原東中学校男子バレー部第15回中学総体で優勝
◎男子西原クラブ第八回ライオンカップ全日本小学生バレー優勝
◎西原東中なぎなた部全国制覇

★八月
4日　西原町平和交流団広島市へ派遣（青年・婦人など10名）
7日　我謝大綱曳
11日　中部地区PTA指導者研修会
16日　町社協合同激励ピクニック
19日　親子で学ぶ戦争追体験平和バスツアー（主催＝町・町教育委員会）

★九月
4日　西原高校吹奏楽部ハワイへ応援演奏へ招待される
5日　平安恒政氏、西原町長に二期連続無投票当選
12日　テニアンパブリックスクールより視察団来町
13日　敬老祝金支給
14日　翁長収入役・親泊町議会議長南米訪問（十月五日まで）
◎平安恒政四代目町長当選証書附与式
15日　町社協第五回敬老会
17日　第九回西原町陸上競技大会（町体協主催＝18日まで）
20日　町老クラブ連合会「社会奉仕の日」で町内清掃
22日　軍事演習反対西原町大会
24日　第一回老人の主張大会
25日　西原東中学校校内音楽祭
●翁長十五夜遊び
26日　昭和六十三年第五回町議会定例会＝昭和六十三年度町一般会計補正予算など可決
●町監査委員（金城哲男氏）選任
27日　西原高校へマイクロバス寄贈（西原高PTA）
●町ママバレークラブ第14回九州地区ママさんバレー沖縄県大会で優勝

★十月
6日　平安恒政四代目町長就任式
●昭和六十三年度町畜産共進会（町農業協同組合主催）
10日　「体育の日」町民軽スポーツ大会（町教育委員会主催）
17日　秋の特設行政相談所開設
●松原聡氏が行政相談委員に就任
●南米移民調査員派遣（十一月十八日まで）
27日　第四回児童館まつり
28日　昭和六十三年町戦没者追悼式＝町主催（西原の塔）
31日　西原中学校創立30周年記念事業期成会発足

★十一月
5日　海邦国体開催記念植樹祭＝町・町緑化支部主催（西原東中学校）
6日　策五回各区対抗ゲートボール大会＝町体協主催）
8日　昭和六十三年度青年学級スタート（町教育委員会主催）
9日　西原東中水泳プール起工式
10日　坂田小水泳プール起工式
13日　第三回町職域ソフトボール大会
16日　西原東中学校第一回体育祭
18日　第九回西原地区童話・お話意見発表大会＝町P連主催
○玉那覇春子さん金メダル獲得（第24回全国身障者スポーツ大会＝京都）
24日　西原町交通安全住民推進大会＝町・町交通安全推進協
27日　各区対抗壮年ソフトボール大会＝町体協主催
28日　第二回町健康づくり推進大会＝町・町健康づくり推進協主催
29日　第四回町社会福祉大会＝町社協主催
◎西原高校サッカー部全国高校サッカー県大会優勝

★十二月
8日　西原小学校分離計画策定専門委員会発足
11日　昭和六十三年度西原中学校文化祭
13日　西原中学校創立30周年記念事業資金造成チャリティーゴルフ大会
14日　昭和六十三年第七回町議会定例会＝昭和六十二年度町一般会計歳入歳出決算など可決＝（20日まで）
17日　町心身障害児者激励クリスマスパーティー（町社協・町心身障害児者を育てる会共催）
18日　第23回西原町青年駅伝大会（町青年団協議会主催、町体協後援）
20日　小川良夫氏助役就任（二期目）
27日　町民陸上競技場起工式

健康について共に考え語り合う
第二回町健康づくり推進大会

〝自分の健康は自分で守る〟をテーマに、第二回西原町健康づくり推進大会（町・町健康づくり推進協議会主催）が十一月二十八日午後二時より町中央公民館において開催された。

これは、健康の保持・増進について町民各層が共に考え共に語り合い、地域ぐるみの健康づくりを推進しようとするもの。

大会には、町民各層より約二百名が参加、健康づくりについての理解と重要性を確認し合った。

大会では、城間期一町健康づくり推進協会長の開会あいさつの後、平安恒政町長の主催者あいさつ、砂川恵徹南部保健所々長（代読）、親泊輝武町議会議長の来賓あいさつ、城間艶子、城間千代子両名の体験発表、最後に〝文教の町の人づくりは健康づくりから〟と題する特別講演が平良一彦氏（琉球大学医学部助教授）によって行なわれた。

町民の健康づくりで推進大会
：11月28日、町中央公民館

64年度保育所入所児童募集
受付は1月17日～31日まで

昭和六十四年四月から保育所に入所を希望する児童の受付をいたします。

保育所は、その児童の保護者が、就労、疾病及び病人の看護等の為、保育できない場合、その児童の保護者にかわり日々保育する児童福祉施設です。

受付期間は、一月十七日より一月三十一日までの日程で町役場福祉課で行います。

入所措置決定にあたっては入所基準に該当するものの中から児童の家庭状況等を聴取又は調査のうえ、保育に欠ける程度の高い児童から募集人員に応じ入所を決定します。

申請書は、町役場福祉課に準備しております。

なお、保育所及び定員は次の通りです。

★詳しくは、町役場福祉課へお問い合せ下さい。

☎五一五〇一一（内13）

保育所名	定員	保育所名	定員
西原保育所	60名	西原白百合保育園	90名
坂田保育所	90名	さざなみ保育園	90名
愛和保育園	90名	小川保育園	60名

〝節水運動期間中です〟節水にご協力下さい。
水はみんなの宝物、大切に使用しましょう。

福祉功労者31名を表彰

＝第四回町社会福祉大会＝

第四回西原町社会福祉大会が、町社会福祉協議会（宮平吉太郎会長）主催で十一月二十九日午後二時より町中央公民館において開催された。

第４回町社会福祉大会のもよう
：11月29日、町中央公民館

これは、高齢化社会の到来と共に、社会福祉を取り巻く社会の急激な変動に対して、町民一人ひとりが社会福祉に理解と関心をもち福祉の心を育て町民参加による福祉の町づくりを推進しようというもの。

大会は、「町民ぐるみで活力ある地域福祉の拡充を図ろう」と「ボランティア活動の輪を広げ、福祉の心を育てよう」をスローガンに町民をはじめ関係団体約三百人が参加、宮平町社協会長の式辞、町福祉課長による福祉行政の説明、本町の社会福祉事業の功労者及び団体の表彰、平安恒政町長はじめ来賓の祝辞などが行なわれ、社会福祉事業に対する理解と重要性を確認し合った。

また、意見・体験発表及び大会宣言なども行なわれ、最後に、崎原盛造氏（琉大医学部保健学科教授）の「長寿社会をどう生きるか」と題する記念講演が行なわれた。

なお、今大会の被表彰者及び団体は次の通り。

呉屋幸夫（上原168）、与那嶺栄幸（幸地213）、安里末子（兼久148）玉那覇春子（嘉手苅137-2）新川春子（与那城77-3）小波津善一（小波津69）、比嘉八重子（小波津233―61）、加屋本靖（小橋川229―4）、金城庄得（小波津14）、故・石原哲（我謝241―3）、＝（以上、表彰状）

橋田辰夫（南西石油）、安谷屋秀夫（東洋建設）、与那城章（桃原建設）、呉屋秀信（金秀グループ）、呉屋安信（町老ク）、城間三郎（町商工会）、比嘉増哲（西原ライオンズク）、屋嘉比盛喜（沖縄観葉組合）、仲宗根太郎（那覇市）、新川カマト（小那覆167）、玉那覇俊子（小那覇73）、新垣チエ（小那覇245）、宮城良清（我謝198）、比嘉カナ（棚原107）、小橋川潔（我謝633）金城澄（安室40―2）、宮平カマ（与那城58）、与儀清行（津花波52）、翁長トヨ（幸地797-1）崎原盛秀（旧字崎原）、西表孫称（幸地301―2）＝（以上感謝状）

―順不同敬省略―

平安町長、見舞金を支給

町（平安恒政町長）では、町心身障害者（児）見舞金支給要綱に基づき、町内に居住する心身に障害をもつ対象者二一五名に見舞金を支給した。

特別養護老人ホーム守礼の里や社会福祉法人・愛泉園においては、平安町長が訪問し一人ひとりに見舞金が手渡された。

見舞金を渡す平安町長
：12月15日、守礼の里にて

見舞金の支給にあたり、平安町長は、「年末を迎え、クリスマスやお正月などといった楽しい行事がやって来ます。今後も、楽しい人生を元年いっぱい過ごして下さい。」とあいさつを述べた。

町農協婦人部が歳末助け合い

″手造り味ソ″110キロ寄贈

「歳末助け合いに手造り味ソをお役立て下さい」と西原町農協婦人部（小川貞子部長）では、十二月十六日午後、町社会福祉協議会（宮平吉太郎会長）を訪れ、百十キログラムの″手造り味ソ″を贈呈した。

同婦人部は会員約三百名、これまで会員の食生活問題や生活改善事業など幅広い活動を展開、今回の″手造り味ソ″は「地域に役立つ事をしよう」という会員からの要望を実現したもの。

贈呈式では、宮平町社協会長へ小川町農協婦人部長より″手造り味ソ″が手渡され、宮平会長は「町内の恵まれない家庭に配布し、温かいお正月を迎えてもらいます。」とお礼を述べた。

″手造り味ソ″は、会員が五ヵ月も手塩にかけたもの。″減塩味ソ″として健康にも良く喜ばれている。

歳末助け合いで″手造り味ソ″を贈呈
：12月16日、町社会福祉センター

香典返し

▽字上原257番地の屋良朝吉さん故父屋良朝勤さんの香典返しとして町社協へ一五万円。

▽字小那覇261―1番地の呉屋厚雄さん故父呉屋厚吉さんの香典返しとして町社協へ一〇万円。

西原小学校が菊まつり

ねばり強いやさしい心を育成

十二月八日（木）午前、西原小学校（高良武治校長）は、美しい小菊の鉢で校庭が花いっぱいに飾られた。（写真）

これは、同校の伝統であるねばり強いやさしい心をもち勤労の精神を育てることを目的に実施されている″一人一鉢運動″による校内菊まつりが開かれたもの。

同校では、毎年七月頃に菊づくりをスタート、十一月の菊の満開に合せ、長期にわたって水の散水、手入れなど、丹精を込めて育てることにより、ねばり強いやさしい心と共同の心を育てていこうと、十年以上も継続されている。

この日は、生徒を中心とした菊まつり全体会が同校体育館で開かれ、菊を育てての感想、菊にちはんだ歌、標語等が紹介され、学校を花いっぱいで飾る美しい心とねばり強い子になることを誓い合った。

Aブロック西原バッファローズが優勝

町スポーツ少年団冬季野球大会

町スポーツ少年団本部（宮里芳男本部長）主催、第38回少年野球冬季大会が十一月十九日、二十日の両日、西原中グラウンドで開催された。

大会には、Aブロック六、Bブロック六の計十二チームが参加、父母らの声援を受けながら熟戦を繰り広げた。

なお、結果は次の通り。

【Aブロック】優勝・西原バッファローズ、準優勝・坂田ハイツ

【Bブロック】優勝・西原バッファローズB、準優勝・西原バッファローズC

※尚、Aブロックの優勝、準優勝チームは、県中央大会派遣をかけて、中城支部大会に町代表として出場したが、惜しくも準決勝で敗れた。

雇用促進住宅入居者を募集

沖縄雇用促進センター

雇用促進事業団沖縄雇用促進センターでは、勤労者の福祉向上をはかるため雇用促進住宅を本町字上原に七〇戸を建設、近々完成する予定である。

宿舎名はサン・コドポラス西原（雇用促進住宅西原宿舎）と称し、左記により入居者を募集しております。

記

一、入居できる方

㈠　雇用保険の被保険者。

㈡　同居親族があること。

㈢　連帯保証人があること。

二、入居受付相談

昭和64年1月28日㈯まで

三、説明会

昭和64年2月11日午後二時

沖縄雇用促進センター

四、申し込み先

雇用促進事業団沖縄雇用促進センター

那覇市旭町35―2

☎〇九八八-六二-三二一五

寄付金

▽西原ライオンズクラブ（比嘉増哲会長）より第七回チャリティー芸能の夕べの収益金の一部として町社協へ10万円

▽東部清掃組合町業務委託者（糸数政光、安里光雄、佐久田朝徳、与那嶺浩）四氏より町社協へ八万円

▽「蟹工船」西原町公演実行委員会（与那嶺浩委員長）より町育英会及び町社協へそれぞれ五万円

第５回西原町トリムマラソン大会　昭和64年１月８日㈰午前９時　西原小グラウンド

わたしたちは、スポーツに親しみ、健康の増進につとめましょう。